



令和7年3月14日
府中町立府中央小学校
保健室

いよいよ卒業式まであと数日となりました。6年生の児童は、中学校への期待と不安を抱きながらも、残された小学校生活をかみしめながら過ごしています。卒業式は、明るく前向きな気持ちで迎えてほしいと思っています。そして、中学校生活も元気で充実した日々になることを願っています。



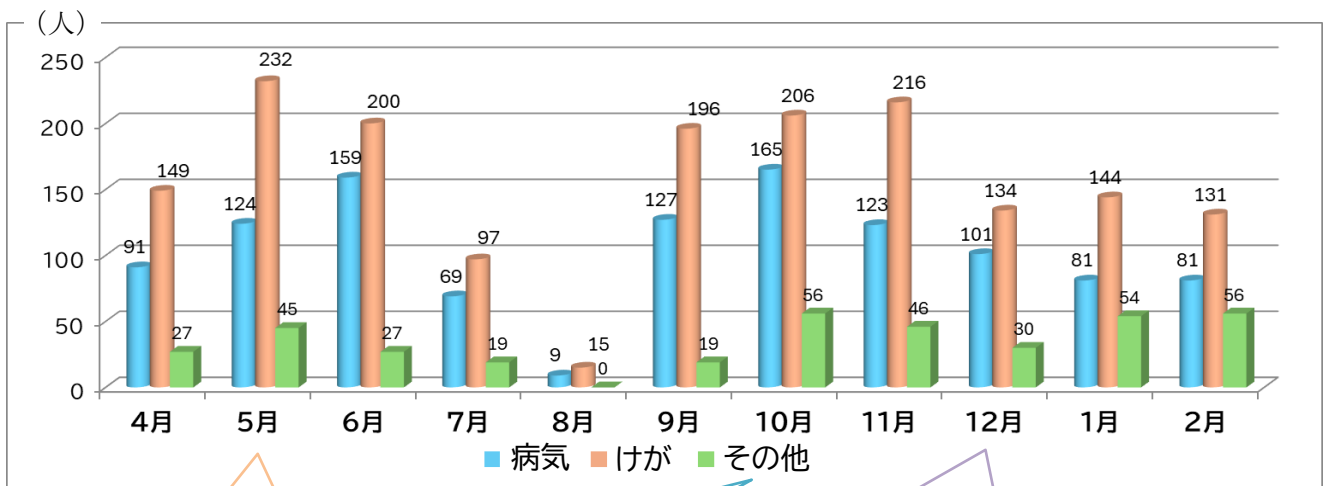
今年度4月～2月までの186日間のうち、
のべ、3,229人が保健室を利用しました。
全校児童1人あたり約4回利用したことになります。

保健室の利用者数について

年度別4月～2月の保健室利用人数比

	令和5年度	令和6年度
病気	1452人	1130人
けが	2454人	1720人
その他	320人	379人
合計	4226人	3229人

昨年度に比べ、利用者数が約1,000人も減少しました。けがでの来室が大きく減っている理由として、暑い時期に熱中症対策による3時間目以降の屋外体育と外遊びを止めたり、遊具や遊具付近での遊び方やボール遊びのルールを守って遊ぶなど、昨年度より児童一人一人が安全意識や注意力をもって遊んだりしていることが考えられます。



けがが一番多かった月は5月

5月下旬に運動会があり、練習中や当日のけがが多かったです。

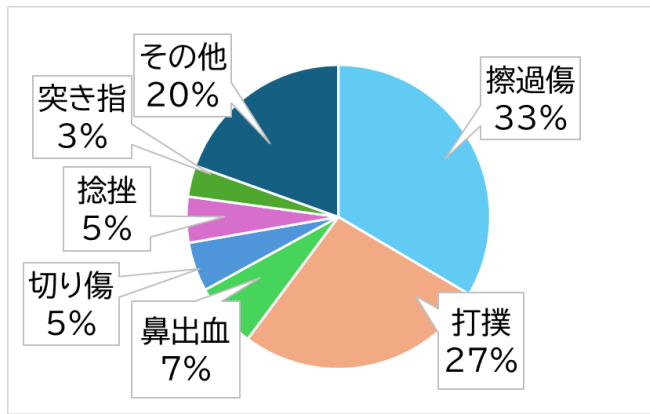
病気が一番多かった月は10月

学習発表会の練習中に起立性の脳貧血になった児童や気分不良を訴える児童が多かったです。

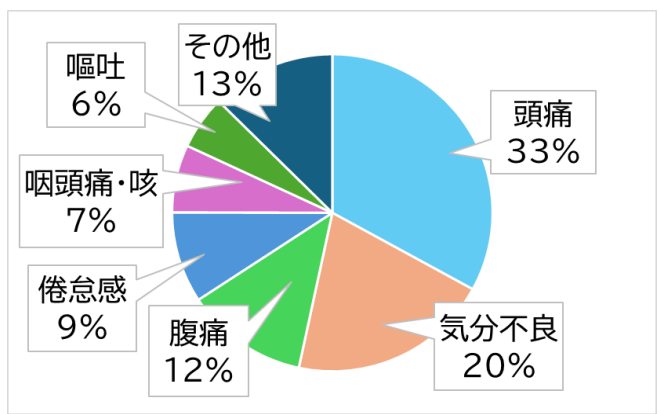
傷病者の保健室利用者が一番多かった日は12月13日(金)のべ32人

インフルエンザの流行、休憩時間のけがの他に、週末疲れなのか、倦怠感を訴える児童の来室も多かったです。

多かったけがの症状は？



多かった病気の症状は？



病院受診を必要としたけがについて

年度別4月～2月の災害発生件数

区分	合計
今年度	50件
昨年度	40件

病院受診を必要としたけがで多かったのは？

- ①捻挫(16件)
- ②打撲・挫傷(15件) 手指や顔のけがが全体の38%を占めていました。
- ③挫創(9件)

病院受診をした件数は、昨年度より10件増えました。体育中の突き指や転倒による打撲、1～3年生の休憩時間の外遊びによるけがが目立ちました。

けがを減らすためには、運動前の準備運動やけがに強い体を作ることが必要です。そのために、規則正しい生活と日々の運動による体力づくりを心がけることなどが大切です。保健室では、処置をしながら自分でできる応急処置の仕方やけがを未然に防ぐ方法について一緒に考えることを心がけています。今後も、けがを防止する意識を高められるように働きかけていきたいです。



今年は、去年に比べ飛散量が多いといわれています。今年から発症する人も少なくないと予想されています。花粉症の初期症状の一つに「目のかゆみ」があります。花粉症の治療は症状が本格的に出てくる前に治療する「初期療法」が効果的といわれています。症状が軽いうちに病院受診をお勧めします。

いろいろな原因による目のかゆみ

アレルギー性	ウイルス性	細菌性
とても強いかゆみと充血	目が開かない くらの目やに	黄色っぽい目やにと充血
花粉症、ハウスダスト、動物、化粧品など	アデノウイルス、エンテロウイルス、ヘルペスウイルスなど	黄色ブドウ球菌、インフルエンザ桿菌、クラミジアなど

原因によって治療薬が違います。重症化することもあるので、自己判断せずに早めに病院へ受診することをお勧めします。